

# 図解 築地本願寺ってどうなっているの？

築地市場の近くに築地本願寺は建っている。広々とした敷地のなかに立派なインド様式の石づくりの建物が建っていて、たくさんの人々が訪れる。敷地内や建物のなかを見てみよう。



現在の築地本願寺の正面

## 海を埋め立てて築かれた

横山町(現・日本橋横山町)に建てられていた、京都の本願寺の別院が、1657(明暦3)年の大火で焼失。幕府の区画整理で旧地への再建が許されず、1679(延宝7)年に現在の場所に移ってきた。幕府から与えられた新しい土地は海上だったため、佃島の漁民が中心となって、海を埋め立てて土地を築き、築地本願寺が建てられた。

江戸時代の築地本願寺



「土地を築く」が築地の名前の由来なんだ！



## 昔の敷地はもっと広がった

1679(延宝7)年に建てられたときの築地本願寺の敷地は、現在の築地場外市場がある辺りまでだった。しかし、関東大震災後の区画整理によって参道に寺院が58あった町も移転し、敷地が半分になった。築地本願寺の協と、築地場外市場に現在も残る5つの寺院は、そこが参道だったことの名残だ。



江戸時代の現在の築地本願寺と築地場外市場



江戸時代の敷地の半分が、築地場外市場になったのね。



### ●たくさんの動物彫刻

築地本願寺の建物には、いろいろな動物の彫刻が配置されている。その動物は、インドでは大昔から神聖な動物とされているウシや、稲やかて他人のために考えるハトなど、種類もさまざまだ。

### 親鸞聖人の教え

親鸞聖人は浄土真宗を開いた人で、その教えは専修念仏というものだった。専修念仏とは、生命のあるものすべてが、阿弥陀如来(浄土真宗の中心となる仏の名前、仏像)の救いを受ける対象。「南無阿弥陀仏」と声に出して言えば、だれも阿弥陀様の救いを受けることができるというものだった。親鸞聖人の教えは、苦しい世のなかを生きる人々の心を支え、広く伝わっていった。

築地本願寺の地下には防空壕があったのよ。



これってお寺なの？  
築地本願寺は、浄土真宗本願寺派の寺だ。関東最大の念仏道場で、現在の建物は1934(昭和9)年に建てられた。建築家の伊東忠太によって設計されたもので、仏教がはじまったくに国であるインドの寺院を参考に設計された。

アジャンター石窟寺院  
伊東忠太が参考にしたインドの寺院。

画像は非公開です。

- 第二伝道会館
- 北門
- 芭蕉句碑
- 土生玄碩墓
- 間新六供養塔
- 森孫右衛門供養塔
- 酒井抱一墓
- 九条武子夫人歌碑
- 親鸞聖人像